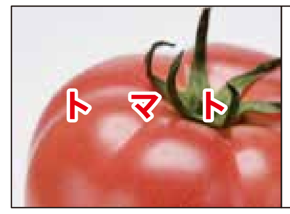
効果的な施肥方法①



- 健苗育成…育苗時　2000倍希釈液を育苗期間中に2回散布。
- 着果促進・成り疲れ解消…1000倍希釈液を10日おきに散布。
  5000倍希釈液を10日おきに潅注。

- 苗の花芽充実…2000倍希釈液を、8月上旬から育苗期間中に4回散布。
- 着果促進・成り疲れ解消…1000倍希釈液を10日おきに散布。
  5000倍希釈液を10日おきに潅注。

- 曲がり・着果促進・徒長抑制…
  1000倍希釈液を10日おきに散布。
  5000倍希釈液を10日おきに潅注。

- 着果・結実の向上…
  早生　収穫20～30日前　1000倍希釈液を2回散布。
  中生　8月下旬、9月上旬　1000倍希釈液を2回散布。
  晩生　8月下旬、9月上旬、9月中旬　1000倍希釈液を3回散布。

- 花振るい予防・果実肥大促進・苦土欠・ほう素欠対策…
  1000倍希釈液を展葉期、開花10日前、開花直前、果実肥大期　4回散布。

- 花芽充実、品質向上…開花直前、落花直後、果実肥大期
  1000倍希釈液を3回散布。

- 健苗育成…2000倍希釈液を、播種から1週間後、2週間後2回散布。
- 生育促進…1000倍希釈液を、花蕾形成期から3回散布。

- 健苗育成…育苗時　2000倍希釈液を2回散布。
- 生育向上、成り疲れ解消…5000倍希釈液を月2回潅注。

効果的な施肥方法②

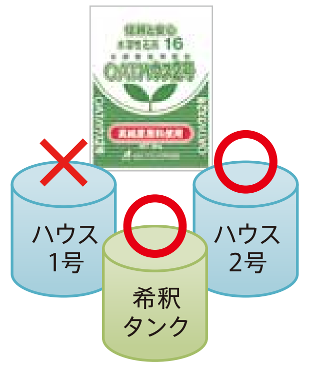
- 低温期の健苗育成・活着促進・初期生育向上…
  2000倍希釈液を、播種から1週間後、2週間後2回散布。

- 健苗育成…2000倍希釈液を、播種から2週間後、4週間後2回散布。
- 生育促進、葉先枯れ解消…1000倍希釈液を、定植2週間後から
  4回散布。

- 着莢数増加、品質向上…
  1000倍希釈液を、開花開始から10日おきに3回散布。

- 健苗育成…2000倍希釈液を、播種から1週間後、2週間後2回散布。
- 生育促進、品質向上…
  1000倍希釈液を、定植2週間後から3回散布。

養液栽培使用方法



- 養液栽培での使用方法（①原液タンク、②希釈タンクでの混用使用）

①ハウス2号（Bタンク）と混用してください、ハウス1号（Aタンク）と混用しますと沈殿物（りん酸鉄）の発生の可能性があります。
ハウス2号原液タンク　200L～600L（混用量　1L～3L）

②希釈タンクへの混用は10,000倍～20,000倍になるよう濃度を調整ください。
10日おきに施用し生育状況を確認しながら濃度、間隔を調整ください。

※養液土耕肥料、タンクミックスとの混用は沈殿の可能性がありできません。

使用上の注意

- ●アルカリ性の農薬やアルカリ資材とは混合しないでください。
- ●石灰硫黄合剤と混用すると有毒ガスが発生する恐れがあり、危険ですから混用しないでください。
- ●高温・乾燥・多湿条件など、不適切と思われる条件での散布は避けてください。
- ●空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- ●肥料以外の目的には使用しないでください。
- ●有機成分を配合していますので、希釈後長期保管するとカビ等の発生の原因になります。タンク投入後速やかに使いきってください。
- ●りん酸を含む肥料と混合すると、沈殿を生じることがあります。りん酸を含む肥料と混用する場合は、ご使用の直前に混合し速やかに使いきってください。
- ●施肥作業後は洗眼やうがいをして皮膚への付着物を洗い流してください。
- ●目に入った場合、直ちに流水で十分に洗い流し、速やかに眼科の診断を受けてください。
- ●これらの処理方法は、あくまでも一般的なものです。
- ●生育状況や気象条件に応じて、処理方法を変更する必要がある場合があります。
- ●幼児等の手の届く所に置かないでください。
- ●保管は密栓し、直射日光を避け凍結しない場所で保存してください。

OATアグリオ株式会社
https://www.oat-agrio.co.jp/
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 1-3-1
コールセンター：0120-210-928（9:00～12:00、13:00～17:00 土・日・祝日をのぞく）

1811 GFG

OATアグリオと愛知製鋼（トヨタグループ）の共同開発液体肥料

鉄力® TETSU RIKI TREPLUS トレプラス®

鉄力トレプラスでたくさんトレる
（二価鉄＋トレハロース）　（穫れる）

肥料 POINT

①二価鉄（安定的に吸収されやすい鉄）
　愛知製鋼が独自に開発した二価鉄配合肥料
②微量要素強化（苦土、マンガン、ほう素）
③トレハロース（多機能な二糖類）

低温・高温・日照不足時の樹勢維持、環境ストレス低減、収量アップ！

保証成分（%）			配合成分（%）				その他
WMg	WMn	WB	Fe	Cu	Zn	Mo	トレハロース
2.0	1.00	1.00	0.50	0.05	0.104	0.039	

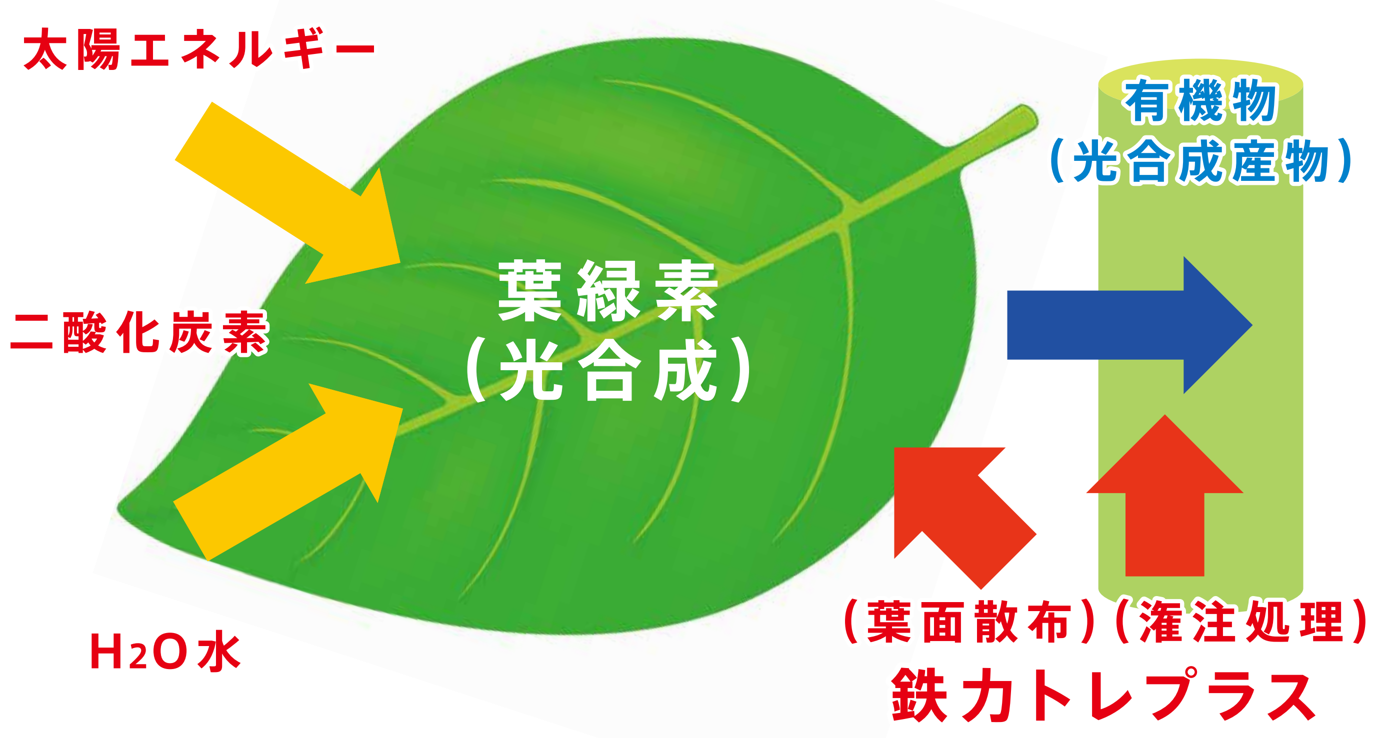
鉄力®は愛知製鉄（株）の登録商標です。トレプラス®はOATアグリオ（株）の登録商標です。

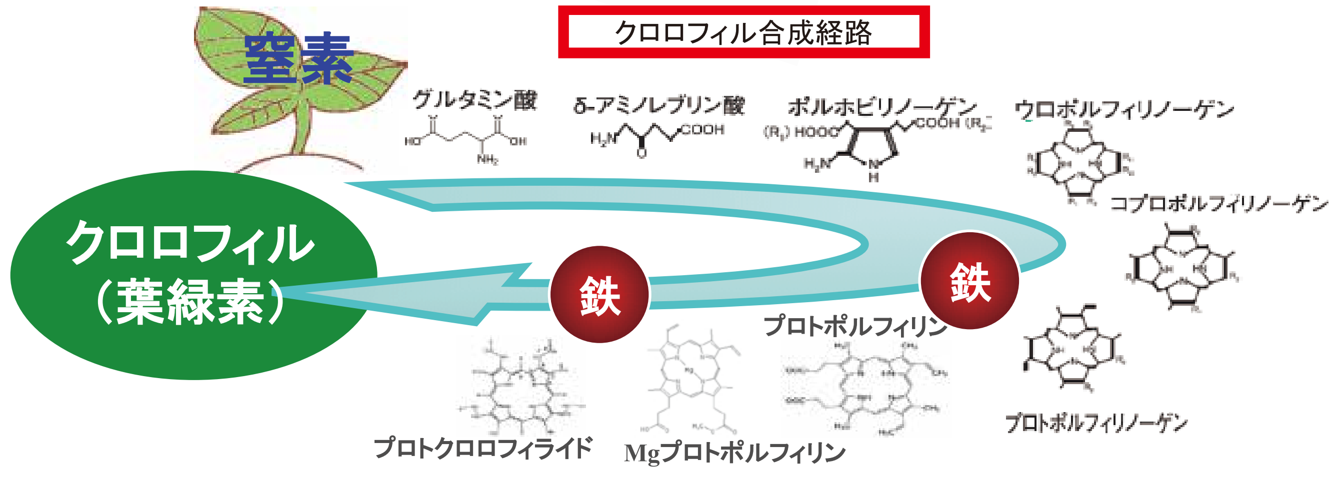
※農林水産省登録生第101454号

OATアグリオ株式会社

光合成のポイントは
鉄とマグネシウムが重要！

鉄力トレプラスは葉緑素に必須の鉄イオン マグネシウムイオンを安定供給します。





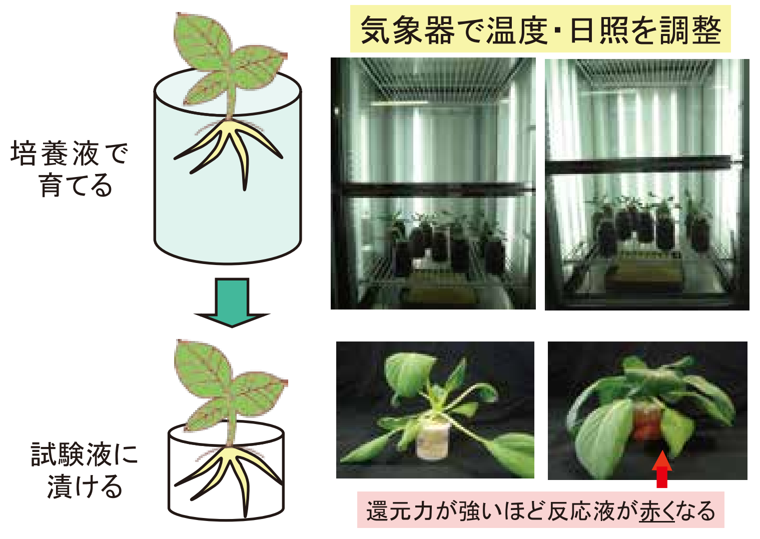
光合成に必要な葉緑素を作るには 鉄 が不可欠！！

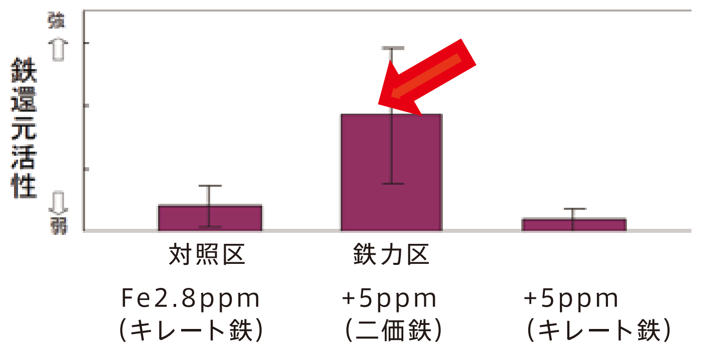
肥料ポイント

光合成の活性の中心には葉緑素があり葉緑素の骨格を作っているポルフィリン酸を低分子から順次合成していくときに、その生合成経路に関わる酵素群には酵素反応の活性因子として鉄が必須です。

人工気象器を用いた鉄還元活性評価

培養液で育てたチンゲンサイを試験液に入れ鉄還元力の差を試験液の色の差で判断する。（還元力が強いほど試験液が赤く反応する。）

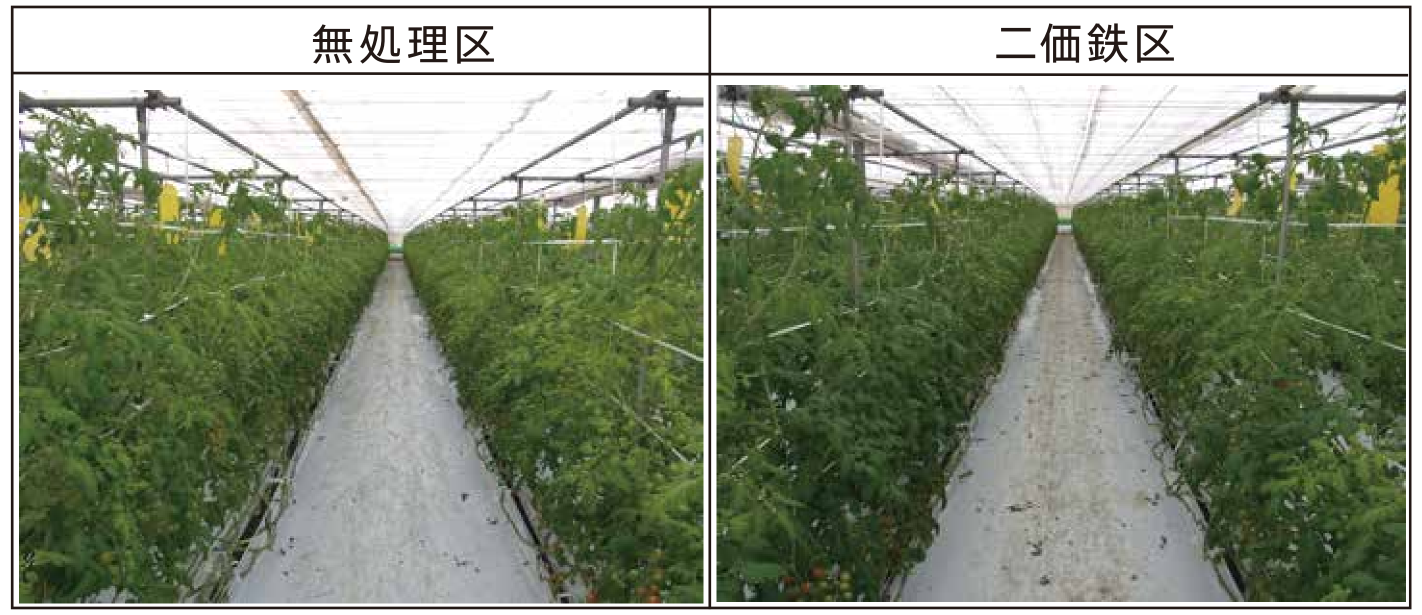




鉄還元力が強いほどクロロフィル（葉緑素）がたくさん作られる、鉄力トレプラス施用区については高い鉄還元活性を示し、特に低日照、低温下で効果差を発揮する。

効果事例（トマト）

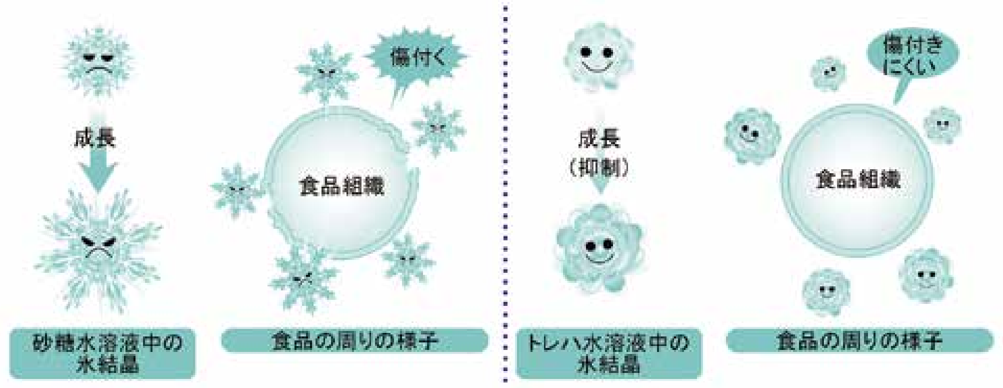
鉄欠乏原因：①低温（秋～冬）における鉄還元力低下
②着果負担による鉄吸収・移行の弱体化



二価鉄の施用により、新葉の葉色を維持。

トレハロースとは？

トレハロースはきのこ類や酵母などに含まれている自然界に存在する糖で、私たちの身近な食品の中にも存在します。細胞やたん白質を凍結や乾燥によるストレスから保護する作用を有していることが、多くの研究者により実証されています。

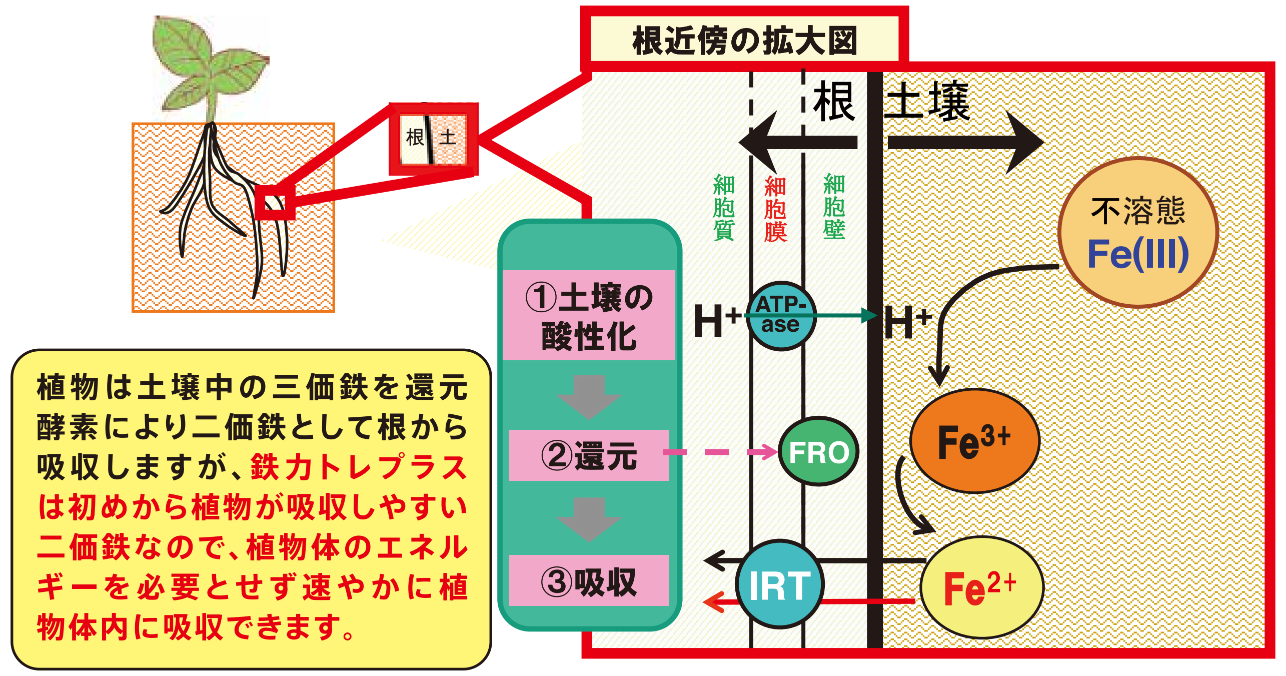


図は株式会社林原様より了解を頂き使用

トレハロース水溶液を凍らせると、砂糖水溶液に比べて小さく丸い形の氷の結晶ができます。また氷結晶の成長を抑制するため氷の粒は小さく、キメも細かくなります。トレハロースによって組織の損傷や離水が抑えられるため、冷凍による劣化が起こりにくくなります。

鉄力トレプラスの効果　まとめ

低温、低日照、高温、アルカリ土壌など吸収されにくい状況でも鉄（二価鉄）、微量要素をスピード吸収します。トレハロースを植物細胞中に供給することで栽培ストレスや環境ストレスによって引き起こされる障害を軽減し植物体の健全な生育を促します。



FRO：三価鉄還元酵素　IRT：二価鉄トランスポーター